

第3学年 音楽科学習指導案

日時 平成16年9月29日(水)第5校時

場所 石鳥谷町立石鳥谷中学校音楽室

学級 3年5組(男21名 女16名 計37名)

指導者 千葉 徳子

- 1 題材名 みんなで創り上げる混声四部合唱の豊かな響き
- 2 指導内容 学習指導要領・第2・3学年A表現の指導事項 ア、イ、エ、キ、クから設定する。
 - a 歌詞の内容や曲想 b 美しい言葉の表現 c 調和のある響き
 - d 和声を含む音と音のかかわり
- 3 題材の目標
 - (1) 歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のある響き、和声を含む音と音のかかわりに関心を持ち合唱表現する。
 - (2) 歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のある響き、和声を含む音と音のかかわりを感じ取り、イメージを生かして表現の工夫をする。
 - (3) 歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のある響き、和声を含む音と音のかかわりを理解し、イメージを持って合唱表現をする。

4 教材

神のみもとに (Soon ah will be done) 黒人霊歌

信じる 谷川俊太郎 作詞 松下 耕 作曲

5 題材について

本題材は、学習指導要領の第2学年及び第3学年の「A 表現・歌唱」ア、イ、エ、キ、クの中から、歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のある響き、和声を含む音と音のかかわりを理解させ、イメージを持って合唱表現をさせたいと考え設定したものである。

1年生のときから、3年後には「自分たちで創り上げる合唱」を目指し、歌詞を味わい表現に生かす活動を重ねてきた。全校合唱等の曲でも、ただ歌うだけでなく、歌詞の意味を考えながら歌ってきた生徒達である。歌うことの好きな男子、歌うことは好きなのだけれど、自己表現がうまくできない女子、表情が硬いため響きのある声で伸びやかに歌うことのできない子もいる。おとなしいクラスで、学習カードには、自分の思いをたくさん書いているのだが、発言できず、表現につながらないこともある。それぞれの気持ちを引き出すことは大変であるが、生徒のつづやきなどを丁寧に拾い上げ、クラスに広げ深めながら表現の工夫に結びつけ、生徒と共に創り上げていく合唱を目指していきたい。

2年生の時、学年合唱曲として、混声四部合唱「ジェリコの戦い」に取り組み、アカペラのおもしろさを味わい、今年度は、更に深い表現をしていきたいという生徒の熱意から「Soon ah will be done」に取り組み始めた。その中で、歌詞と記号のかかわり、メロディーとパートの役割について考えてきた。

「信じる」という曲は、生徒が自分の思いを重ねやすい歌詞で、さらに美しいメロディーの部分と激しく曲想が変わる部分があり、表現の工夫を考えやすいと思われる。

そこで、歌詞からイメージを広げ、感じたことをまとめさせ、どのように表現したいのか考えさせたい。歌詞とメロディー、和声を含む音と音のかかわり、そして様々な記号とのかかわりを考えさせながら表現の工夫をさせたい。

6 題材の評価規準

【A 表現・歌唱】

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点3 表現の技能
題材の評価規準	・歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のある響き、和声を含む音と音のかかわりに関心を持ち、合唱表現をしようとしている。	・歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のとれた響き、和声を含む音と音のかかわりを感じ取り、イメージして表現の工夫をしている。	・歌詞の内容や曲想、美しい言葉の表現、調和のとれた響き、和声を含む音と音のかかわりを理解し、イメージを持って合唱表現をしている。
学習活動における具体の評価規準	歌詞の内容や曲想に関心を持って意欲的に取り組もうとしている。 言葉の抑揚、アクセント等に関心を持ち、意欲的に表現しようとしている。 各パートの役割を生かし、調和のとれた響きに関心を持ち、意欲的に合唱表現しようとしている。 和声を含む音と音のかかわりに関心を持って、意欲的に合唱表現しようとしている。	歌詞の内容から、表現したいイメージや曲想を感じ取っている。 歌詞の内容から曲想を感じ取り、表現したいイメージを持って表現の工夫をしている。 言葉の抑揚、アクセントなどを感じ取り、表現の工夫をしている。 各パートの役割を生かした調和のある響きを感じ取っている。 調和のある響きを感じ取り、表現の工夫をしている。 和声を含む音と音のかかわりを感じ取り、表現の工夫をしている。	歌詞の内容や曲想を理解し、イメージを持って合唱表現をしている。 言葉の抑揚やアクセントを意識しながら合唱表現をしている。 各パートの役割を理解し、調和のとれた合唱表現している。 和声を含む音と音のかかわりを理解しながら合唱表現をしている。

7 指導と評価の計画（8時間扱い）

時	学 習 活 動	具体の評価規準との関連	評価方法など
1	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容から、曲想のイメージを広げる。(学習カード) ・旋律の特徴や声部の役割を意識し、自分のパートを歌う。 	観点1 観点2	観察 学習カード 生徒の発言内容
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴や声部の役割を意識し、自分のパートを歌う。 ・歌詞の内容による曲想の変化を感じ取り、イメージや考えを持って歌う。 ・歌詞の内容による曲想の変化を感じ取り、イメージや考えを持って表現の工夫をし合唱をする。 	観点1 観点2 観点1 観点2 観点2 観点3	観察 生徒の発言内容 演奏発表 工夫の様子、 練習の内容と演奏内容の確認
4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚、アクセントなどを感じ取り表現の工夫をし、合唱をする。 ・和声を含む音と音のかかわりを感じ取って表現の工夫をし、合唱をする。 	観点1 観点2 観点3 観点1 観点2 観点3	観察 生徒の発言内容 工夫の様子 演奏発表 練習の内容と演奏の内容の確認
5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・調和のある響きを感じ取って表現の工夫をし、合唱をしている。 	観点1 観点2 観点3	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの合唱として、これまで学習したことを生かし合唱表現をしている。 ・歌詞の内容や曲想を理解し、イメージを持って合唱表現をしている。 ・調和のとれた合唱表現をしている。 	観点3	観察 演奏発表 学習カード

8 指導と評価の展開

(1) 本時の目標

- ・ 休符を意識し、美しい言葉の表現に関心を持ち、イメージを持って意欲的に合唱表現に取り組む。
- ・ 休符を意識し、美しい言葉の表現を感じ取り、イメージや考えを持って表現の工夫をする。
- ・ 休符を意識し、美しい言葉の表現を理解し、イメージや考えを持って合唱表現する。

(2) 本時の具体的評価規準と生徒の学習状況

生徒の学習状況 具体的評価規準	B おおむね満足できる	A 十分に満足できる
【観点1 - 】 言葉の抑揚、アクセント等に関心を持ち、意欲的に表現しようとしている。	言葉の抑揚やアクセントに気づき、意識しながら発表したり歌ったりしている。	言葉の抑揚やアクセントによる美しい言葉の表現を考えて発表したり、歌ったりしている。
【観点2 - 】 言葉の抑揚、アクセントなどを感じ取り表現の工夫をしている。	言葉の抑揚やアクセントなどを感じ取り、イメージしながら表現の工夫をしている。 <発言例> 休符は休む印。言葉とのつながりに気づいた発言であればよい。	言葉の抑揚やアクセントを大変よく意識し、考えイメージを膨らませながら、意欲的に表現の工夫をしている。 <発言例> 休符があることで、言葉がはっきりする。緊張感が生まれる。歌詞のイメージが、はっきりと浮き出る。
【観点3 - 】 言葉の抑揚やアクセントを意識しながら合唱表現をしている。	言葉の抑揚やアクセントを意識しながら合唱表現をしている。	言葉の抑揚やアクセントを意識し、イメージとかがわらせて、合唱表現をしている。

努力を要する生徒(c)への支援の手立て

【観点1 - 】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の抑揚、アクセントについて周囲の生徒とも話し合わせ、イメージを共有させる。 ・ 言葉の抑揚、アクセントについて、個別に声かけをしたり周囲の生徒の表現の工夫を参考にさせる。 ・ 同じパートの生徒の表現を感じ取らせながら、歌うよう助言する。
【観点2 - 】	
【観点3 - 】	

(3) 展開

ねらい・学習活動	具体の評価規準との関連	留意事項 評価
<p>1 . 全校合唱曲の合唱をする。</p> <p>2 . 前時の授業内容を想起し、歌詞のイメージから、どのような表現をしたいのか考え発表する。</p> <p>3 . イメージしたことをもとに言葉を生かして歌うためには、どんなことに注意が必要か考え発表する。</p>	<p>観点 1</p>	<p>これまでの学習を想起させ、十分に響かせ、表現をさせる。</p> <p>合唱のチェックをする。音が不安定な箇所は確認する。</p> <p>意図的指名をし、全体へ広げたい。</p> <p>生徒の発言、つぶやき、うなずき</p> <p>中間部分「地雷を」からの部分を取り上げ考えさせる。</p> <p>既習事項である言葉の抑揚、アクセントを引き出したい。更に楽譜に注目させ、休符まで気づかせ課題に結びつける。</p> <p>生徒の発言、うなずき、つぶやき</p>
<p>休符を意識し、美しい言葉の表現を感じ取り合唱表現しよう。</p>		
<p>4 . 休符の役割について考え発表する。</p> <p>5 . 休符を意識して、どのように言葉を表現し、歌ったらよいのか考え発表し合唱する。</p> <p>6 . まとめの合唱をする。</p> <p>7 . 次時の学習内容を知る。</p>	<p>観点 2</p> <p>観点 3</p>	<p>発言を生かしながら合唱体験をさせ、休符の役割に気づかせる。</p> <p>生徒の発言、つぶやき、うなずき</p> <p>細かく区切り合唱をし、休符の役割を理解させる。</p> <p>言葉からのイメージと、休符のかかわりに気づかせ、意識して合唱表現をさせる。</p> <p>休符を意識し歌うことが、言葉を美しく発音し強調することにつながり、表現がさらに豊かになることに気づかせたい。</p> <p>生徒の発言、合唱表現</p> <p>工夫したことを、具体的に確認し意識させながら合唱表現のまとめをしたい。</p> <p>不協和音、言葉の反復、歌詞と強弱記号とのかかわりにも気づかせたい。</p> <p>更なる意欲付けをする。</p> <p>次回までの課題の確認をする。</p>